

会長挨拶

全日本中学校長会会長 青海 正



本日は第七六回全日本中学校長会総会が、文部科学省文部科学戦略官今村聡子様、全国都道府県教育委員会連合会会長・東京都教育委員会教育長坂本雅彦様をはじめ、教育関係団体の代表の皆様、全日中歴代会長の皆様など、多数の御来賓の皆様のご臨席を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

さて、昨年度の活動を振り返りますと、全日中新教育ビジョン「学校からの教育改革」の推進を図るため、毎回の理事会において、教育ビジョンに示した「10の提言」をもとに、各地区の学校や校長会における取組、並びにそれらに対する成果や課題等について、情報提供に加え意見交換を行いました。

また、各地区の中学校長会研究大会においては、六月の関東甲信越地区茨城大会を皮切りに、広島、大阪、福井、宮崎、北海道十勝・帯広、そして十月の全日中全国大会を兼ねた東北地区岩手大会まで、全国七地区で開催された大会全てに参加しましたが、いずれにおいても当該の大会会長並びに実行委員会の御尽力により、全て成功裏に終わり、参加された会員の皆様からは、顔を突き合わせて語り合うことにより、校長同士の心のつながりをより強固

にすることができたと確信し、校長としての貴重な学びの機会を得たことへの感謝の言葉を多数いただきました。

さらには、文部科学大臣への緊急声明、要請など、文科省には何度も伺いました。あべ大臣からは、教育は国を創るための「人づくり」であり、教師に優れた人材を確保するため、教職調整額の引上げなどによる教師の職責にふさわしい処遇の実現や時間外在校等時間の縮減のためにも教職員定数の改善などについてもしっかりと対応すること、働き方改革、教職員定数の改善、処遇改善を一定的に進めることなどについて、熱意のある前向きなお話を伺うことができました。

この他にも、衆・参両議院、財務省、総務省、文科省及び各都道府県東京事務所へ伺い、要請書「文教関係立法・予算措置等要望」を携えた陳情・要請活動、教育関係二三団体全国集会、文科省初等中等教育局教育課程企画室栗山室長をお招きしての新春座談会、日韓教育文化交流で韓国ソウル市を訪問するなど、精力的な活動に追われた一年間でありました。

ところで昨今、深刻さを増す少子・高齢化、混沌の度を増すグローバル情勢、気候変動に伴う自然災害の激甚化、生成AIなどデジタル技術の発展といった大きな変化があいまって、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっています。これからの我が国を担う子供たちは、激しい変化が止まることのない時代を生きることになります。生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力を身に付けることの重要性が増しています。日本国外に出て行く機会も増える一方、日本社会の内なるグローバル化が進展し、異なる価値観を持つ多様な他者と、当事者意識をもって対話を行い、問題を発見・解決できる、「持続可能な社会の創り手」を育てる必要性がこれまで以上に高まっていると考えられます。

学校現場の状況を見ると、現行学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げ、全ての教科等を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という三つの資質・能力の柱で整理し、「何を学ぶか」だけではなく、「何ができるようになるか」を明確化するとともに、「どのように学ぶか」の重要性を強調し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を必須としました。こうした中、全国の学校はGIGAスクール構想による一人一台端末環境も活用し、精力的な授業改善を行ってきました。世界に冠たる我が国の教育は、質の高い教師の努力と熱意に支えられ、大きな成果を上げ続けています。

一方で、様々な課題も顕在化しています。例えば、学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供が多くなっています。大幅に増加している不登校生徒をはじめ、特別支援教育の対象となる生徒や外国人生徒、特定分野への強い興味・関心や、特異な才能のある生徒への支援の充実とともに、多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現です。

また、習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、生成AIには扱えない概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えをもち、根拠に基づいて他者に明確に説明すること、自律的に学ぶ自信がある生徒が少ないこと等に依然として課題が見られます。

さらに、デジタル学習基盤は、一人一人の興味や関心に応じ、良さを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めています。その効果的な活用は緒に就いたばかりです。「デジタルキャリアか」「デジタルか紙か」といった二項対立に陥らず、「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚をもって、積極的に取り組む必要があります。

学校は子供たちと未来を語り合える場所であり、教師は人を育てる最高の職業です。私たちが抜け出せなくなるほど夢中になった教師の仕事がいかに魅力的なのかを積極的に発信し、現状に疑問をもち改善に向けて行動するこ
とを大切に、初心に立ち返り、会員相互の英知を結集して、これからも全日中の責務を果たしてまいりましょう。

結びに、これまでの全日本中学校長会の活動に御理解・御協力いただきました本会役員、理事をはじめ全国の各都道府県校長会の皆様、全日中に対して全面的に御支援いただいた文部科学省初等中等教育局をはじめ関係局の皆様、各都道府県教育委員会の皆様、関係団体の皆様、そして全日中OBの皆様に改めまして感謝申し上げます、開会の挨拶といたします。
